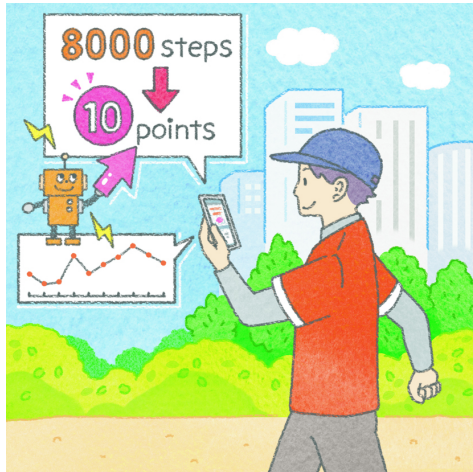


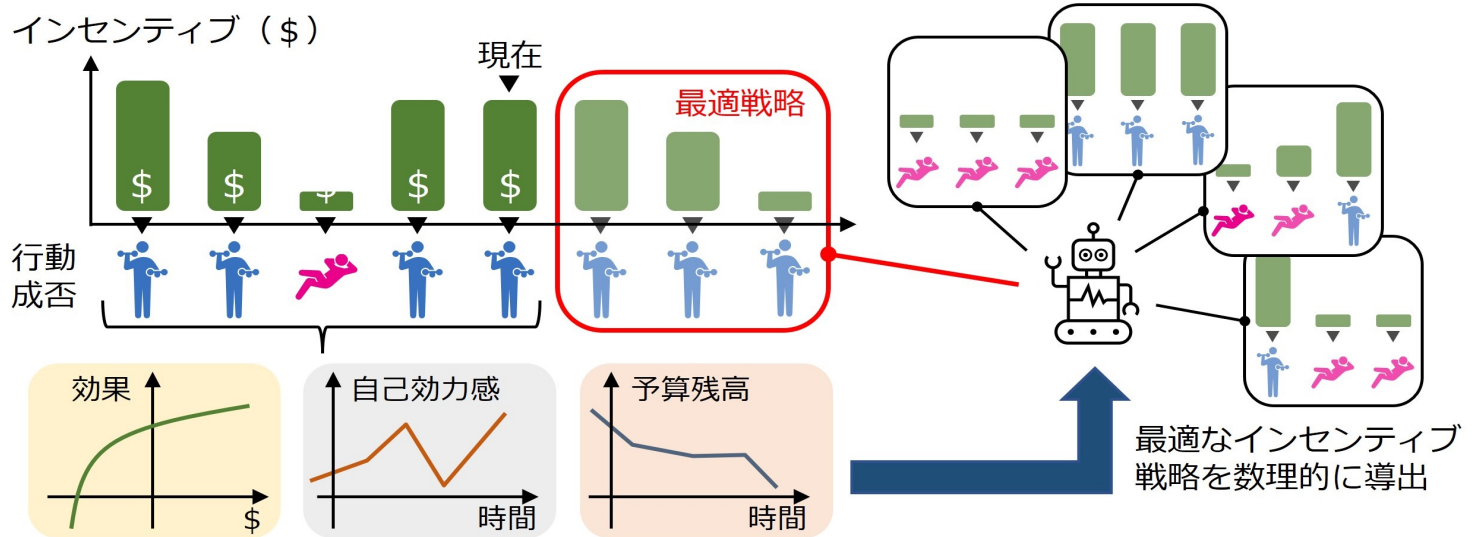


背景

運動不足は高血圧、脳卒中、糖尿病などさまざまな病気を誘発することで知られます。昨今、ポイントを含む金銭的インセンティブを利用した健康行動の習慣付けに注目が集まっていますが、費用対効果の高いインセンティブ戦略がどのようなものであるか、ほとんど分かっていません。

成果の概要

本技術は、自己効力感と呼ばれるヒトの心理特性に着目し、運動行動の継続を目的とした費用対効果の高いインセンティブ戦略を数理的に導出します。導出された戦略を用いれば、ヒトの行動履歴に基づき、次に提示すべきインセンティブの金額を決定することができます。



技術のポイント

- 従来の単純な金銭的インセンティブ戦略に比べてより費用対効果の高いインセンティブ戦略を導出できることを実験的に検証
- 費用対効果の高い金銭的インセンティブ戦略を数理的に導出する、世界初の技術
- 金銭的インセンティブがヒトの運動行動に与える影響をヒト単位で数理モデル化し、個々人に最適なインセンティブ戦略を導出可能

この研究がもたらす未来

本技術を用いたヘルスケアサービスを通じ、人々は金銭的インセンティブ（例：dポイント）を効果的に利用して健康行動を継続し習慣化することができます。

出展企業

日本電信電話株式会社

問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com